

海外出張では、韓国、カンボジアへ赴き仕事のほかに現地で美味しい食事や体験ができ、楽しいものでした。

これまで仕事で一緒させていただきました方々に、心より御礼申し上げます。

(研究支援推進部 松本 正典)

振り返ってみて

1982年11月、奈良文化財研究所の飛鳥資料館庶務室係員に採用され、私の公務員生活が始まりました。これまでの36年半を大過なく過ごすことができ、奈文研のほか京都大学、奈良教育大学、同じ機構内のアジア太平洋無形文化遺産研究センターと12年間勤務いたしました。それぞれの職場で多くの方々から多くのことをご教示、ご指導いただきました。誠にありがとうございました。

これまで在職した中で、奈文研、とくに都城発掘調査部の勤務が一番長く、私にとってはとても居心地の良い職場でありました。また、キトラ古墳、高松塚古墳の発掘調査では、普段の事務仕事とは異なる貴重な体験を得ることができ、当時の異部長とは、石室解体のときは一日の発掘調査が終わるのをよく遅くまで残って待っていたことが思い出されます。他機関での勤務では、医学部・附属病院で従事する中で日常生活でも役立つ知識を多く得られました。



森本部長・渡補佐・松本補佐(左から)